お知らせ

本教会へ初めて来られた方々を
心から歓迎いたします。
「毎月最初の主日には聖餐式を行います。」

教会の働き

■ ぶっとびマッスル子どもキャンプ(3/27～28)に、教会学校の子どもたちが参加し、豊かな恵みをいただいて無事に帰ってきました。これからも、教会学校の子どもたちが信仰のうちに健やかに成長していけるよう、お祈りをお願いいたします。

■ 教会の四月牧会運営会議が、今日夕方礼拝後にあります。

■ 4月6日午後４時から JTG 飯田教会の創立10周年記念礼拝でメッセージを伝えます。

■ 子どもイースター祭り(フェスティバル)
４月 19 日 午前 10:30 から
地域の多くの子供たちが参加しますように
お祈りと広報をお願いします

聖徒の為に祈りましょう。
・コロナとインフルエンザから守られますように。
・施設に入られている方々の生活が守られる為に。
・YouTube ライブで、礼拝している教会と聖徒の皆さんの為に。(大阪ホームチャーチ、相模原の佐々木こずえ執事の家庭など)

ルカの福音書
18:31-34

31 さて、イエスは十二人をそばに呼んで、彼らに話された。「ご覧なさい。わたしたちはエルサレムに上って行きます。人の子について、預言者たちを通して書き記されているすべてのことが実現するのです。32 人の子は異邦人に引き渡され、彼らに嘲られ、辱められ、唾をかけられます。33 彼らは人の子をむちで打ってから殺します。しかし、人の子は三日目によみがえります。」34 弟子たちには、これらのことが何一つ分からなかった。彼らにはこのことばが隠されていて、話されたことが理解できなかった。

来週礼拝奉仕者

主日礼拝 柳澄香(賛美リーダ).松島スヤンティ(祈祷)
夕方賛美礼拝 柳澄香(賛美リーダ). 北原孝子(祈祷)
水曜礼拝 北原孝子(司会). 松島浩一(祈祷)

礼拝時間案内

主日礼拝	AM 11:00
夕方賛美礼拝	PM 2:30
教会学校（小学生まで）	AM 9:50～10:30
水曜礼拝	PM 7:00
祈祷会. 火・木曜日	PM 8:30～9:30
土曜日	PM 8:00～9:00

週報 2025-13号 2025.3.30

神の国とその義を
第一に求める
宗教法人 イエス・キリスト

飯田福音教会

395-0807 飯田市鼎切石 3883-4
TEL 0265-56-8286
www.iidahc.com

牧 師 柳 承吉(ヤナギ ショウキチ)
副牧師 柳 智愛(ヤナギ チエ)

主日礼拝　　AM 11:00～

賛美リード　　韓芽唯
信仰告白　　(使徒信条)
代表祈祷　　北原明子
特別賛美　　インマヌエル聖歌隊
お知らせ
聖書個所　ルカの福音書 18:31-34
メッセージ　　柳 承吉牧師
(エルサレムに上られたイエス様。)
賛　美　　神の家族

夕方賛美礼拝　　PM 2:20～

賛美リード　　韓芽唯
代表祈祷　　高木はつ江
聖書個所　ルカの福音書 13:6-9
メッセージ　　柳 承吉牧師
(誰の罪のせいですか。2)

水曜礼拝　　PM 7:00～

司　　会　　韓芽唯
代表祈祷　　北原孝子
聖書個所　ローマ書 3:21
メッセージ　　柳 承吉牧師
(ローマ書 3 章の概略-2)

今週の御言葉

エルサレムに上られたイエス様。 ルカ 18:31-34

今日は四旬節の第 4 主日です。四旬節とは、復活祭の日曜日を除いた40日間の期間を意味します。2025年の四旬節は、3月5日（水）から4月19日（土）まで続きます。4月20日（日）は復活主日です。四旬節の意味は、イエス様の受難と復活に共にすることにあります。四旬節の最も大きな目的は、聖徒たちが復活（イースター）を敬虔で意義深く迎えるための備えをする期間です。

1. イエス様は預言者たちの預言を成就された（31節）

「見なさい、わたしたちはエルサレムに上って行きます。人の子について、預言者たちを通して書き記されているすべてのことが実現するのです。」

イエス様は、自分を捕らえようとする者たちが待ち受けているエルサレムへ、弟子たちと共に進まれました。私たちだったら、自分を害そうとする者がいる場所に進んで行けるでしょうか？　しかし、イエス様は、神の御心を成し遂げるためにエルサレムへと向かわれました。

イエス様は、自らの危機と苦しみを知りながらも、預言された神の御心を成就するために上られたのです。イエス様がこの世に来られた目的は、罪のために、死ぬべき人類を救うことです。イエス様は人類救済の使命と、神の預言を成就するためにエルサレムに向かわれました。

2. イエス様は預言された苦難を受けられた（32 節）

「人の子は異邦人に引き渡され、彼らに嘲られ、辱められ、唾をかけられます。」

イエス様は、私たちを救うためにエルサレムであらゆる苦しみを受けられました。預言されたとおりに、嘲り、侮辱、平手打ち、唾をかけられるなど、数々の恥辱を受けられました。しかし、苦難の後には祝福がやって来ます。イエス様の苦しみのゆえに、私たちは救いを得ました。

3. イエス様は死んでもよみがえられた（33 節）

「彼らは人の子をむちで打ってから殺します。しかし、人の子は三日目によみがえります。」

苦難の後に栄光が来るという事実を、イエス様ご自身が証明してくださったのです。

お生まれになったときも、宿屋すらなく、家畜小屋でお生まれになり、亡くなられる時も、人間的に最も悲惨な方法で、十字架上で体が引き裂かれ、血を流しながら命を終えられました。イエス様の死は、その始まりから終わりまで苦しみの極みでした。しかし神は、イエス様を栄光の姿で現されました。それが復活です。イエス様は死後三日目によみがえられました。イエス様がエルサレムへ上られる道、それは栄光へと向かう道です。

4. イエス様は秘められた御言葉を語られた（34 節）

「弟子たちには、これらのことが何一つ分からなかった。彼らにはこのことばが隠されていて、話されたことが理解できなかった。」

今日、世界中の国や民族が戦争や天災によって不安と恐怖に震えています。さらに、頻繁な猛暑、豪雨、台風、地震などにより、地球全体が苦しんでいます。

今、私たちはイエス様の再臨が近い時代に生きています。聖書に記された終末のしるしが、以前よりも多く、頻繁に現れています。だからこそ、私たちは本当に慎み深く目を覚まして祈るべきです。神の御言葉を正しく理解し、従い、御言葉によって生きる必要があります。